



学校だより

2月号

特別入試・一次入試が無事終了

1月12日(木)と1月25日(水)に島原復興アリーナをお借りし、本校の特別入試・一次入試が行われました。昨年度をはるかに上回る受験者数で、受験会場は多くの受験生が合格を目指して、緊張した面持ちで試験に取り組んでいました。

特別入試・一次入試の合格者の入学手続きも終了し、たくさんの中学生が本校へ入学予定です。来年度以降も受験者が増加し、活気ある学校になるような取り組みをしていきたいと思っておりますので、今後ともご協力くださいますようお願い致します。

献血・献血セミナー開催

1月19日(木)に長崎県赤十字血液センターよりお越し頂き、2・3年生を対象に献血セミナーが実施されました。血液は、生命の起源であり、人工的に作り出せません。セミナーを通して、献血された血液は、がんや血液の病気、重篤な病気に多く使用されていることを学び、輸血を必要とする人がいることを改めて知ることができました。



また、1月23日(月)には、本校へ献血車が来校し、2年生の男子、3年生が積極的に献血に参加し、合計で29名が献血を行うことができました。献血で、健康であることへの感謝し、見知らぬ誰かのために役に立てる素晴らしい機会となりました。

剣道部 全国大会 初出場

1月14日、15日に全国高等学校選抜剣道大会長崎県予選大会が、諫早市多良見体育センターで行われました。本年度は、全国選抜大会に出場できる枠が2校となり、本校剣道部が見事に準優勝を果たし、全国への切符を手にすることが出来ました。決勝戦は、ベスト4に勝ち進んだ上位4校によるリーグ戦が行われ、島原高校、西陵高校、佐世保北高校との対戦となりました。本校は、1勝1敗1引き分けで、リーグ戦2位となりました。



試合結果は、下記の通りです。

1回戦	対 長崎東高校	3-2
2回戦	対 海星高校	3-0
準々決勝	対 長崎北高校	2-1
決勝リーグ		
1試合目	対 島原高校	1-2 負
2試合目	対 佐世保北高校	1-1 引き分け
3試合目	対 西陵高校	2-1 勝

ご声援ありがとうございました。

2月の行事予定

- 8日(水) 進路講話
- 9日(木) 短縮授業
- 10日(金) ~ 12日(日) 九州選抜剣道大会
- 13日(月) 3年生登校日、記念植樹
1・2年生考査時間割発表
- 15日(水) 服装検査
- 16日(木) 短縮授業
- 21日(火) モラロジー講話
- 20日(月) ~ 23日(木) 1・2年生学年末考査
- 24日(金) 卒業式予行
- 25日(土) 卒業式
- 27日(月) 代休
- 28日(火) 進路マナー講話

球技大会

1月20日(金)、本来であれば、「がまだす20キロウォーク」の予定でしたが、天候不良のため、中止となりました。

代わりに、午前中、体育館でソフトバレーボール大会を実施し、生徒達は活発に活動しました。また、終了後は育友会から豚汁を提供して頂きました。

お忙しい中、学校へ足を運んで頂き、誠にありがとうございました。今後とも保護者のみなさまの学校行事への積極的な参加を生徒・職員一同お待ちしております。



島原新聞

2017年(平成29年) 1月20日(金曜日) (2)



創部10年 初の全国へ
島原中央高校の剣道部
部員ら思いが強く諦めず

全国高校選抜剣道大会県予選大会(14、15日・多良見体育センター)の男子で準優勝した島原中央高校剣道部(写真・同校提供)。2007年に創部し、10年目で初の全国大会へのキップを手にした。当初は男子5人、女子7人の大所帯となり、実力をつけている。県予選男子は30校によるトーナメントの上位4強で決勝リーグを展開。島原中央、強豪の島原と西陵、佐世保北が3試合ずつ戦い、雌雄を決した。島原中央は最初の島原戦を落としたが、続く佐世保北戦で引き分けたもののチャンスをつなぎ、西陵を破って準優勝の座を勝ち取り、優勝校と2枠の全国出場権を得た。

創部当初から指導する竹田光樹監督(36)は「生徒が運をチャンスに変えた。部員たちの思いが強く、諦めずに頑張ってきた成果では」と選手らを称える。恩師の渡邊孝経監督が率いる島原は自身の母校であり、その功績に感謝の言葉が尽きず、「インナーハイで島原が活躍したからこそ機会を与えてもらった。同じ市から2校が全国に行けるのは嬉しい。島原の剣道の層を厚くし、全国に知れ渡る状態をつくってくれたからこそ」と話している。

島原中央の部活動で県予選を経た全国大会出場は、昭和61年(1986)に甲子園に挑んだ野球部以来31年ぶり、という。森崎和樹校長は「着々と10年間精進し、結果した」と称えた。